

## 平成31年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	平成31年2月1日（金） 午後6時30分～午後8時00分
会 場	川上会館
自治会名	川上連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務企画部長、木村地域振興部長、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、木村農林水産部長、酒井経済部長、上田教育部長、岩渕総務企画部参事監、桂田地域振興課長、池田地域振興課主幹、平田地域振興課主査 以上14名</p> <p>【自治会側】 18名（男性18名、女性0名 議員3名）</p>

### 《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	司会 桂田地域振興課長
会長挨拶	川上連合自治長
町長挨拶	大野町長
職員紹介	桂田地域振興課長
資料説明	<p>渡辺健康生活部長</p> <p>1. 「脳・脊髄外来のご案内」について</p> <p>坂総務企画部長</p> <p>2. 「静内庁舎の電話が変わります」</p> <p>岩渕総務企画部参事監</p> <p>3. 「婚活事業について」口頭説明</p> <p>桂田地域振興課長</p> <p>4. 「町長在庁日の取り扱いについて」口頭説明</p>
意見交換 自治会長	<p>脳・脊髄外来は、月曜日だけ診察できるということですが、これは問診だけか。機械も備わった治療や検査もしてもらえるのか。また、どのような機械を準備しているのか。</p>
渡辺健康生活部長	<p>静内病院では問診のみとなります。静内病院にはMRIが整備されていないため、先生が診察してMRIが必要となれば、提携を結んでいる日高德洲会病院の最新のMRIで画像を撮っていただき、その画像を北大の専門医が診断することになります。さらに手術が必要ということになれば、北大病院に入院を勧めることとなります。</p>

<p>自治会員A ・乳幼児健診について</p>	<p>合併してから、静内地区で行っていないからという理由で、三石地区で行っていたことを全部廃止している。乳幼児の検診は、三石地区では1か月、3か月と検診をやっていたが連絡もなく6か月になった。以前は3か月検診の連絡が来たが6か月検診の時に来る。なぜ無くなったのか。</p>
<p>渡辺健康生活部長</p>	<p>ご指摘されるように静内地区と三石地区の乳幼児検診の時期が異なって実施してきました。昨年、保健師で協議し統一することで、全国でも乳幼児検診がやられている月数の6か月に両地区ともに変えたということですのでご理解いただきたい。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>今までやっていたことをやらないという連絡がない。前年は3か月の時も連絡が来て、1か月の時も巡回してくれていた。町はインターネットに掲載しているし、広報でも周知していると言っているけれども、インターネットもどれだけ見ているかわからないが、合併してからこれだけ不親切なことはないのではないか。</p>
<p>渡辺健康生活部長</p>	<p>各個人に連絡をしたかどうかまでは把握していないので、その点は確認したい。現在は、静内地区に三石地区から来られる方も増えてきています。静内地区では北大の小児科医に来ていただいて乳幼児検診を行っています。三石地区は三石国保病院の三浦先生が行っています。どちらの地区でも受けられるような体制は整えていますので、決して三石地区に対してのサービスを減らしているということではないですのでご理解いただきたい。</p>
<p>自治会員A ・三石庁舎への保健師の配置について</p>	<p>保健師を静内地区へまとめたことで、三石地区にいた保健師がいなくなり、三石地区住民に静内地区まで行ってくださいと言う。こんな不合理はない。もう少し三石地区でやっていたことを続けてほしい。</p>
<p>渡辺健康生活部長</p>	<p>三石地区には町民福祉課に1名保健師が常駐しています。また、自治会、老人クラブから要望があった場合や各イベントには、静内地区から保健師や管理栄養士、歯科衛生士などが三石地区での講演や各教室を開催していますのでご理解いただきたい。</p>
<p>自治会員B ・調剤薬局（国保病院）について</p>	<p>三石病院の薬局のことは、連合自治会などの会議でよく話題になるが、薬をもらうために向かいの薬局に行かなければならない。これが何とかならないか。何年も前から話で隣にある保健センターを使うなど何か良い方法はないか。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>私が支所長だった平成22年頃から聞かされていることですが、何が一番良いのかというのは、元の保健センターが良いと思いますが、法律的に置くことができない。あそこの信号は手押し信号ではないので待たなければならず、病院から右側に出ると信号の場所から外れてしまうので、どうしても斜め横断で薬局に行ってしまうのが現状です。いろいろなことを調べ、警察などにも相談し、浦河町側にある手押しの信号と取り替えてほしいと言っても警察に断られる。隣のお寺の駐車場を借りて薬局を建</p>

	<p>てられないかと話をしたが、これも現実的ではない。病院改革プランで、病院の建替計画が出てくると思いますが、そこまで解決できないのではないかとこの感じを受けています。薬局を置くためには、敷地外に出なくてはならない。駐車場の共有はできないという法律になっている。地域の実態に沿ったやり方ができれば良いが、なかなかうまくいかない。薬局側に配達することができないかと確認もしたが、運ぶのは薬剤師でなければならず、病院側が取りに行くこともできない。なかなかうまくいかないので本当に迷惑をかけています。</p>
<p>自治会員A ・土砂災害対策 について</p>	<p>最近では毎年のように災害があり、その度に町からの請負業者が来て、側溝や排水の掃除をしてもらいますが、いつも素掘りの状態で終わらせてしまうので、大雨でなくても次に雨が降ったときに山から土砂が流れてきて、草地や水田に水が流れ込んで被害が出ている。担当者にしがらを買ってくださいと言っても予算がないと言う。雨が降り土砂が出て業者に重機を頼むお金があるなら、しがらの一つくらい買えると思うが、町でどのように考えているのか。</p>
<p>木村農林水産部長</p>	<p>確かにあちこちでそのような状況になっている。予算も厳しい状況なので状況を見ながら対応していきたい。</p>
<p>大野町長</p>	<p>町の予算が厳しいのが現実ですが、そのような中で、どういうところに予算を使うのか精査しているところですが、現場に合わせた工事のやり方や対処の仕方があると思うので、まずはしっかり現場を見て相談しながら対処していきたい。</p>
<p>自治会員C ・旧川上小学校 (グラウンド) に係る電気料金の 負担について</p>	<p>歌笛・川上育成協で冬まつりというイベントをやっています。閉校となった2011年度からやってきているイベントで、自治会などの協力を得ながら開催しています。その中で1月5日頃から川上小学校のグラウンドにスケートリンクを作っていますが、夜はライトを付けなければならないので、昨年まではその電気料金を町で払っていましたが、今年度から育成協で北電と契約して自分たちで負担してくださいと言われました。今年度はもう契約しているので育成協で払うことになると思いますが、できれば来年度から町で電気代を出していただけないかというお願いです。電気を使用する期間は約1か月くらいですが、電気料金がどのくらいかかるかは把握していません。今回は三石地区育成協から5千円出してくれることになりましたが、残りはこちらで負担することになっています。</p>
<p>大野町長</p>	<p>今年の方も町でお支払いをしたいと思います。個人でやっている活動にお金を出してほしいということではなくて、子どもたちのため、地域のためにやっておられることですので、今年の方も町で何とかやりたいと思います。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>できれば電気料だけではなく地域の子どものために、毎日、夕方から夜11時ころまで無償でやっている。町はそういうところに税金を使ってもらいたい。電気代を5千円出してあとは知らないというのは、誰が考えてもおかしな話です。みんながんばって水撒きや自分たちのトラクターを出して除雪し、文句も言わないでやっている。</p>

大野町長	<p>今まで町の財政がすごく悪く、本当に切り刻んでやってきて、現在も悪いというのが現実です。そういう中で、現場に近い職員ほど苦勞している。現場に行っている職員はやってほしいと言われても予算がないですということが何年も続いてきている。考え方がそのようになっていっているというのは、本当に申し訳ないところですが、そういうものをだんだん変えていながら、皆さまの声を聞いて、それをトータルでどう見るかということをやっつけていかなければならないと感じていますので、時間がかかるかもしれませんが変えられるものは変えていきます。税金の公平な使い方というのがありますから、その機能はどうなのか、これはここまでは持つべきではないのか、それは私どもで判断すべきことだと思いますので、そういう話はどんどん言っていただきたい。</p>
自治会員A ・行政コーナー の廃止について	<p>歌笛の行政コーナーが廃止になると聞いているが、そのことについて説明してほしい。</p>
木村地域振興部長	<p>町の行革でいろいろな事務事業の見直しを行っています。今やっている事業の中で見直しできるものは見直していくことを内部で進めていました。昨年の暮れに三石地区協議会に町の考え方を説明させていただき、委員からも地域に関する事なので地域の意見を聞いて進めてくださいという話をいただきました。そこで11月に歌笛地区に町の考え方を示してご意見をいただきました。来週、歌笛地区の懇談会があり、そちらでも町の考え方を示して地域でどういうことに支障があるかということのご意見をいただく場として考えており、地域には期限が3月31日として説明しましたが、3月まで2か月しかなく、あまりにも唐突すぎるという話があり、地域との話もできていない中で、今日のまち懇も含めてその中で出された意見を調整し、今後の考えを示していきたい。</p>
本庄副町長	<p>私が理解できないのは、何のために行政コーナーが必要なのか。週3回、午前中開設していますが、その職員に相談したいことがあるわけではなく、役場に物を届けてほしいということだとすれば、週3回いなければならない理由にはならないと思います。行政コーナーを廃止することによって職員を1名減らしたい。住民票の発行はこの郵便局でもできるので、役場への届け物ということであれば、定期的に取りに行けば足りると思いますが、そういうご理解は得られないのでしょうか。</p>
自治会員A	<p>役場を定年退職した行政全般の内容が分かる人が、歌笛や川上を巡回して話を聞いてくれば良い。行政コーナーに来ている職員は庁舎に戻って、昼間できない仕事を全部しなければならぬ。行政が遠いので、災害時なども少しでも地域のことを分かっている人が来て説明しなければ、正職員は置かなくても良いから、行政のことを分かる人を置いてほしい。</p>
本庄副町長	<p>そういうものが必要だとすれば、なぜ歌笛だけなのか。他の地区はなぜいないのか。行政コーナーの必要性として、荷物の受け渡しなどの連絡員だとすると、週1回で足りるのかを知りたい。私どもも協議していますが、地域支援員を配置しているの</p>

<p>自治会員A</p>	<p>は、住民が役場まで行かなくても困っていることを聞いてくるために広報を配りながら自治会長のところを回っています。行政コーナーだけの話では疑問点がありすぎる。</p> <p>行政コーナーがあるおかげで、郵便局が廃止にならないこともあるのではないかと。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>どこもそうではないかという話です。役場まで時間の違いはあるかもしれないが、他から見たら歌笛にだけあって、なぜ自分たちは役場に行かなければならないのかということになる。確かに歌笛の歴史もわかりますが、その歴史を振り返ると不公平観しか残っていない。もし、行政コーナーを残すということになれば、他の地域でも考えなければならぬ事案だと思います。他のところに予算を使うためには、何かを削っていかないと帳尻が合わないので、確かにあれば良いというものがたくさんありますが、どこかで我慢しないと新しいことや優先してやるべきところに手が回らなくなるので、我慢してもらうところは我慢してもらわなければならないと思っています。</p>
<p>自治会員B ・川上会館の結露対策について</p>	<p>自治会要望事項で、川上会館の結露について要望したが、何か対策は考えているのかお伺いしたい。去年は6月から8月上旬くらいまで、湿度の高い時は使用できないのではないかとというくらい特にひどく、水を撒いたような状態になった。夏に向けて何か対策をしてほしい。</p>
<p>木村地域振興部長</p>	<p>新年度予算に向けて、最終的な査定段階ですが要望をしています。どういう工法で行うか、それを解消できる工法なのかということにより、多少金額が増減するため、もう一度精査するよう財政担当から指示がありましたので、その状況も含めてどのタイミングで改善できるか考えていきたい。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>どうすれば結露がなくなるのか、工法についていろいろと議論をしている。すぐやらないと施設も傷めてしまうので、建設課に指示してどんな方法が良いのか検討させています。</p>
<p>大野町長 (閉会挨拶)</p>	<p>いろいろなこととお聞かせいただきました。一番印象に残っていることは、親切な行政だという言葉です。職員の対応なり悪い部分もあると思いますので、その点については話をさせてもらいます。今、大事なことは、限られた税金を公平にどのように使うかということです。そのためには、老人ホームや病院を運営するために10億円近い赤字があり、その赤字を町の税金や国から来るお金では賄えられません。そのために、いろいろなことを削っている最中であります。先ほど、本庄副町長から歌笛地区の話がありましたが、そういうものを少しずつ均等にならしていくことが大切になってきます。私をコストカッターだと言う人もいますが、やるべきことをやらないとだめだと思っています。私は選挙のために仕事をするという気は一切ない。町のためにやるという気持ちだけです。これから三年間しっかりやってから考えたいと思っていますので、そのためには厳しいこともやります。皆さんにはご理解いただきたいと思っています。</p> <p>それと三石地区に来ると静内地区のことを意識されて、静内地区に来ると三石地区のことを意識されているいろいろな話を聞きます。これは私が町長になってから、どちら</p>

	<p>の地域に行っても同じ感覚でいます。合併して約12年も経過しているのに、そのような状況です。これは30年経っても同じ状況だと思います。両地域が寄り添って良いものにしていくか、お互いに腹を割って話をしながら進めていく必要があると思いました。皆様のご理解を得ながら進めて行きたいと思いますのでご協力をお願いします。私の部屋もドアは開けていますので、時間がある時は気軽にお声掛けください。どうぞよろしく申し上げます。</p>
閉 会	20:00 終了